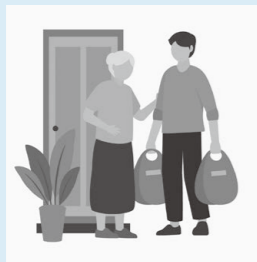


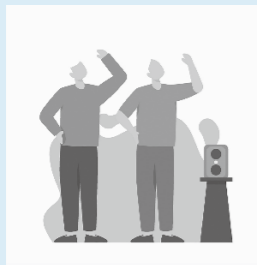
地域の支え合い活動を 「住民主体のサービス（B型）」として支援します！

高齢者が地域とのつながりを保ちながら、できるだけ元気に自分らしい生活を送れることを目的とした「介護予防・日常生活支援総合事業」の1つとして、地域住民やボランティア団体などが主となり、通いの場を設けたり、生活支援を行ったりする「住民主体のサービス（訪問型サービスB・通所型サービスB）」があります。



訪問にて日常生活の困りごとに対応 （訪問型サービスB）

掃除、洗濯、買い物、ごみ出し、草むしり、雪かき、見守り、話し相手など



地区の会館や公民館などに集まって介護予防に 取り組む（通所型サービスB）

体操や運動、脳トレーニング、趣味活動、交流会など

地域の支え合い活動を、高齢者※に対して行う住民主体のサービス（B型）として、立ち上げに要する経費や活動にかかる経費を敦賀市が助成します。

※要介護認定において要支援1・2の認定を受けている者および総合事業対象者を含む

地域の中から生まれるさまざまな活動を応援しています。ぜひ、ご活用ください。自分たちの活動が対象になるかどうか、その他助成要件、内容、経費など詳細についてはお問い合わせください。

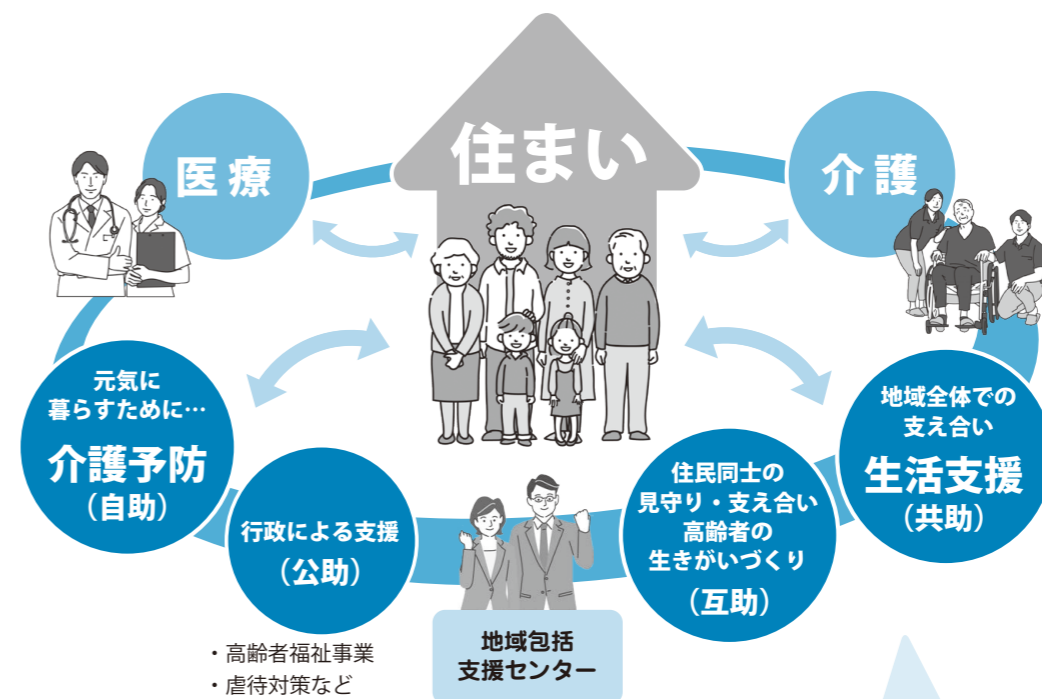
▶助成対象

地域住民・住民ボランティアグループ・NPO法人などが行う活動

▶対象事業

下記①～③を満たす活動

- ①新たに立ち上げるもの
- ②高齢者の日常生活を支援するもの
- ③定期的に継続して実施されるもの



さまざまな人・場所・団体
による支え合い活動

- 地域団体
- 地域のお店・会社・事業所
- 地域住民
- ボランティア団体
- NPO

6月4日に北地区で開催した「支え合い地域づくりフォーラム」では、支え合いの地域づくりを目指し、全国各地で活動している講師によるオンライン講演を行いました。「みんなで考えよう！地域での支え合い」「誰もが安心して住み続けられるまちをつるが」をテーマとし、地域での支え合いや助け合いについて学びました。

フォーラム後、支え合い井戸端

市内で広がる支え合い 活動の取り組み

ひとり暮らし高齢者・要介護者が増え、普段のちょっとした困りごとを抱える人が増えています。地域住民みんなが「自分ができること」で支え合い、解決できることがたくさんあります。

地域共生の まちづくり

誰もが安心して住み続けられるまちをつるが
みんなで「支え」「支えられる」地域づくり

敦賀市では、高齢者はもちろん、障がい者や子どもなど全ての人が地域で暮らしの中で役割を持ち、支え・支えられる関係を共につくる「地域共生」のまちづくりを目指しています。

地域での支え合い活動を広げるために…

「地域支え合い推進員」は、地域での集まりや自治会活動など、さまざまな集いの場に出向き、支え合い活動や地域の見守り、介護予防などについてお話ししています。地域づくり、支え合い活動を広げる・つくるため、地域の皆さんと一緒に力を合わせて取り組みます。ぜひ、皆さんの地域にも呼んでください。

取や草むしりなど、ちょっとした困りごとと同じ地域の方がボランティアで手助けするなど、人とのつながりをつくる活動や支え合い活動が広がっています。

今後、このような話し合いの場を市内各地区に広げていきます。

西・松原地区でも「支え合いを考える会」を開催し、地域に必要な活動をつくるため、公民館で話し合いや勉強会を重ねています。

その中で各町内では、趣味や体操などで集まる交流の場をつくっていたり、高齢者宅の粗大ごみ回収（ワークショップ）を行い、どんな地域にしていきたいか、どのような活動や環境があるのかなど、地域の皆さんの思いを話し合いました。井戸端会議終了後も、北地区では継続して話し合う場を持ち、地域に必要な活動をつくり出していく予定です。



・支え合い、助け合いがこれからは本当に必要！
・身近なところから取り組めることがたくさんある！

・みんなが集まれる場所がほしい
・日ごろからの付き合いが大事だ